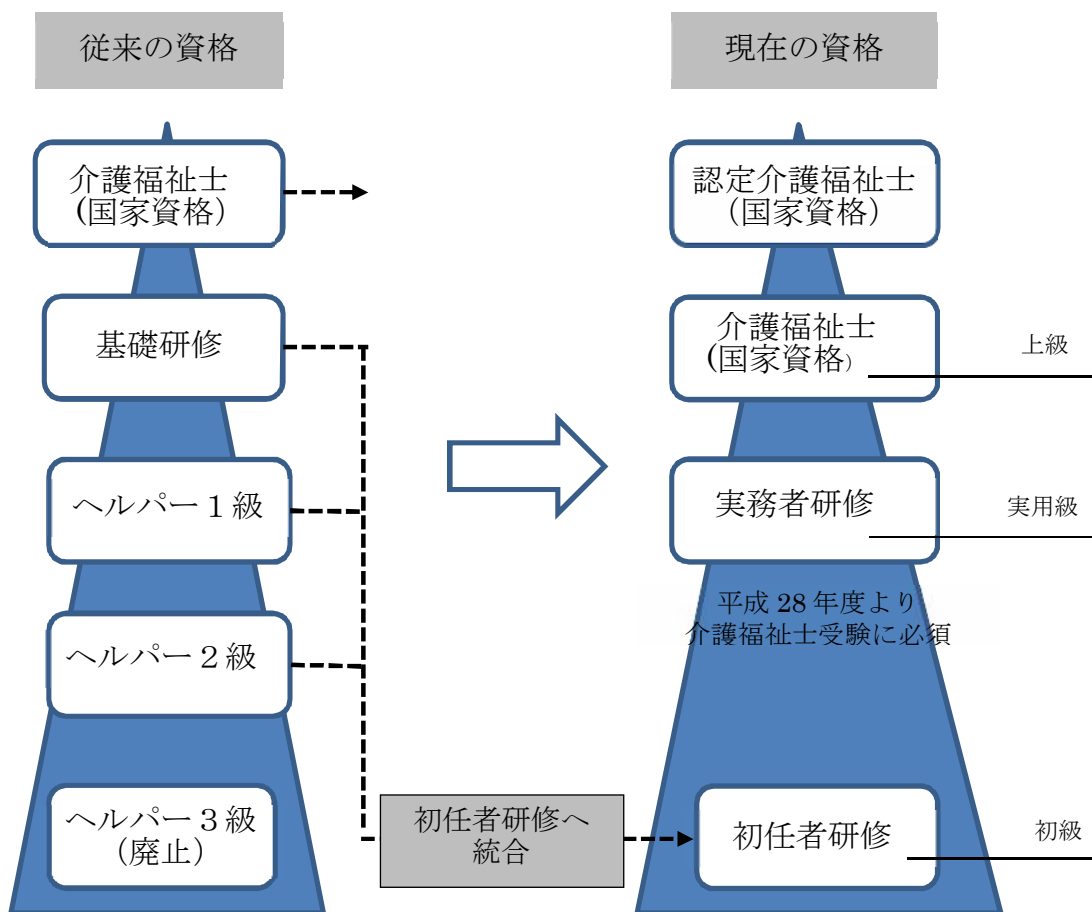


実務者研修養成講座のご案内

介護福祉士の受験資格が変更になりました

高齢化により介護のニーズは高まり、より質の良い介護サービスが求められています。質の高い介護サービスを提供するためには、介護職員の知識と技術の向上は不可欠となります。そのため、法律改正により平成 28 年度の介護福祉士国家試験から、受験資格として実務経験 3 年（実働日数 540 日以上）に加えて「実務者研修」の修了が義務付けられました。「実務者研修」は、介護の専門家として生涯働き続けるために必要な知識と技術のスキルを効果的に磨くことができます。



実務者研修についてのポイント

POINT 1

平成 28 年度からの「介護福祉士国家試験」を受験するには、3 年以上の実務経験と「実務者研修の修了」が義務付けられました。実務者研修を修了すると、介護福祉士国家試験が筆記試験のみとなり、実技試験が免除になります。

POINT 2

訪問介護事業所で、サービス提供責任者として活躍できます。

POINT 3

「介護職員初任者研修」に比べ、より実践に即した介護の知識や技術の習得の他、医師や看護師以外には認められていなかった「たん吸引」や「経管栄養」などの医療的ケアの基礎知識を学ぶことができます。

*現場で実際に処置をする際には「喀痰吸引等研修」の現地研修を修了する必要があります。

POINT 4

すでに取得している資格によって免除科目があります。通学科目（スクーリング）は「介護過程Ⅲ」と「医療的ケア」の 2 科目のみに設定されています。

それ以外の 18 科目は、修了している資格に応じた通信講座になっています。「喀痰吸引等研修」を取得する際には、基本研修(50 時間)が免除されるため、現地研修からスタートすることができます。

POINT 5

介護福祉士の受験を視野に入れた、これからのスタンダードで実用的な資格です。

これから介護の資格を取得する方にはおすすめです。

実務者研修のカリキュラム

コスモス福祉教育学院の実務者研修は、「通信学習」と「スクーリング」で学習していただきます。通信学習は、自分のペースで学習できるので、働きながらでも受講することができます。

スクーリングは、実技演習のほか、今までは医師や看護師などの免許がないとできなかった「たんの吸引」や「経管栄養」などの医療行為の基礎知識を学びます。

POINT

通信学習は、取得している資格によって科目の免除があります。
スクーリングは9回、(基礎研修修了者は2回)

	科履修目 全 21 科目	履修時間 450 時間	基礎 研修	訪問介護員研修			初任者 研修	無資格 の方
				1 級	2 級	3 級		
通信学習	人間の尊厳と自立	5				○		○
	社会の理解	5				○		○
	社会の理解Ⅱ	30			○	○	○	○
	介護の基本Ⅰ	10				○		○
	介護の基本Ⅱ	20				○	○	○
	コミュニケーション技術	20				○	○	○
	生活支援技術Ⅰ	20					○	○
	生活支援技術Ⅱ	30					○	○
	介護過程Ⅰ	20					○	○
	介護過程Ⅱ	25				○	○	○
	発達と老化の理解Ⅰ	10				○	○	○
	発達と老化の理解Ⅱ	20				○	○	○
	認知症の理解Ⅰ	10				○	○	○
	認知症の理解Ⅱ	20				○	○	○
	障害の理解Ⅰ	10				○	○	○
	障害の理解Ⅱ	20				○	○	○
	こころと体のしくみⅠ	20					○	○
	こころと体のしくみⅡ	60				○	○	○
医療的ケア	50				○	○	○	
通信学習科目数			1 科目	1 科目	11 科目	16 科目	10 科目	19 科目
スクーリング	介護過程Ⅲ	45		●	●	●	●	●
	医療的ケア演習	16	●	●	●	●	●	●
	スクーリング科目数		1 科目	2 科目	2 科目	2 科目	2 科目	2 科目
	スクーリング回数		2 回	9 回	9 回	9 回	9 回	9 回

○ 通信学習科目

● スクーリング科目